第３回　西モイム報告

日　時　：　10月５日（日）午後１：30～５：00
場　所　：　大阪府立桃谷高校
参加者　：　７名

１．全国大会

⑴高大接続・連携のテーマに関する発表の内容・趣旨（東から）

①昨年のような、大学側からの視点ではなく、高校側からの視点で。

②在学生の実態調査＝卒業後、上級学校等（大学・専門学校など）に進学して韓国語学習を継続する意向があるかどうか（教養で、または専攻で）＝を行う

③過去の卒業生の事例収集＝卒業後、上級学校等（大学・専門学校など）に進学して韓国語学習を継続した生徒（教養で、または専攻で）＝を行う

④できれば、授業外の学習者（独習またはサークルなどで）の事例も含めたい

→　その結果をもとに、高校現場の実情を大学関係者に知ってもらう。
なお、実態調査および事例収集は、時間の制約上網羅的に行うのは難しければ、パイロット調査（試験調査）でもよい。

⑵高大接続・連携のテーマに関する討議

・ 高校で韓国語を学んで、入試等での得点あるいは有利なことがあるのなら、高校現場とし
ては、集約してほしい。
例　推薦入試で得点化または、ハン検定・韓国語能力試験等の得点化、単位認定等
＊どこが集約するか？　←　大学側のほうが集約しやすいのでは？

・センター試験の韓国語は、今の状況でいいのか。単位数の少ない高校でも、チャレンジ出来る試験は？

・大学に進学する生徒が少ない高校の多くでは、ニーズが低いのでは。

・ しかし、大学に行っている生徒たちから、高校で学んだことが、役に立っているのか、ま
た、その様子などを聞いてみたい。（大学でも継続して学習している理由、現在の学習状況、今後の希望・夢等）

・ 卒業後も継続して、大学等で韓国語を学習している卒業生を呼んで、話を聞く。
→住吉高校、花園高校、武庫之荘高校の卒業生にあたる
→大学側で、韓国語等の授業で実際に生徒からアンケートを取ったほうが早いのでは？
→卒業生の実態を知らない担当者も多いのでは？どれくらい集まるか

・ 昨年は大学側からの報告だったが、今年は高校側からの報告にということで、現時点での高校側での実態調査の手始め、もしくは中間報告程度のアンケートか。

⑶アンケート素案

調査対象；高校の授業担当教員　＊クラブ指導者は今回はパス（資料なし）

ジェーケーズ全国ML、大阪府立高校で授業があり、進学者が多そうな高校

学習者へのアンケート等は　←　次回?　←卒業生に来てもらう（数名）

アンケート内容

０．回答者　名前（　　）、所属（　　）、常勤・非常

学年（　　）、単位数（　　）

１．生徒が、卒業後、進学先等で継続して学習したいというニーズがあるか。

よくある　・　時々ある　・　あまりない　・ほとんどない

２．生徒が、実際に進学先等で継続して学習しているケースがあるか。

よくある　・　時々ある　・　あまりない　・ほとんどない　・　わからない

３．上の２で、「よくある、時々ある」と答えられた方へ（複数回答可）

・進学先は？　　大学　・　短大　・　専門学校　・その他

・授業の形態は？　　専門学科またはコース　・　一般または選択科目

・授業について卒業生から何か、次のような情報を得ていますか？

ア（　）入門・初級から始めるので、高校で学んだ内容とほぼだぶっている。

イ（　）　高校で学んだことと、少しだぶっていることもある。

ウ（　）　高校で学んだことと、ほとんどだぶっていない。

エ（　）　その他（　　）

・ア、イに✔された方へ・・・高校で学習した内容と重なっている期間について

（　）　出席しているが、退屈である。

（　）　良い復習の期間になっている。

（　）　出席しなくてよい。

（　）　担当の先生が個別に教えてくれる。

（　）　入門・初級を飛び級して、上のクラスを受講することができる。

（　）　その他（　　）

４．生徒が、卒業後、継続してスムーズに学習できるためには、何が課題だと思われますか。

（自由記述）←　ケース・スタディになるような例が出てくれば・・・

５．卒業後も継続して学習している卒業生の具体例を、出来る範囲で紹介していただけますか？（自由記述）←　ケース・スタディになるような例が出てくれば・・・

６．依頼・趣旨文

平素は韓国朝鮮語教育におかれまして、生徒たちの指導をはじめ、さまざまな課題に取り組み、ご活躍のことと存じます。さて、高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク（ジェーケーズ）では、高校で学んだ生徒たちが、高校を卒業後、継続して進学先等での韓国朝鮮語学習がスムーズにすすめられるよう高校と大学等での連携について、課題を明らかにするために現況調査を行

うことにしました。この結果の集約・分析は、11 月 29・30 日に大阪府立桃谷高校で行われるジェーケーズの全国大会で中間報告を予定しております。ご多忙のこととは存じますが、高大連携・接続に向けての第一歩となるために、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

７．方法　・・・　ジェーケーズの会員には全国 ML、府立高校には郵送又は FAX

８．締め切り　・・・　10 月末

⑷授業研究

「授業に ICT を効果的に活用しよう」（仮題）

洪性薫さん・・・文字・発音、文法、文化等の日常の授業についての報告。

李貞榮さん・・・「楽しもう韓国語大会」に出場させた事例に関わる報告。

⑸役割分担

司会・進行・・・左美和子、任喜久子　　受付・・・鄭一珠ほか

会計・・・藤村直哉　　記録・・・東、南？

懇親会・・・梁千賀子　　＊案内→ミファジャ、アンケート→ヒグジャ

２．その他

・大阪府立教員採用テストで久しぶりの「韓国語」採用の試験では、今年は受験者が１名、合格者がゼロ。来年度も採用枠があるはずなので、もっと広報活動をすべし。

・「楽しもう韓国語大会」　12 月 21 日（日）大阪韓国人会館５F

３．次回モイム　　２月１５日（日）